

基本理念

○基本姿勢

- ①社会、国民に支持され、成果を還元する科学技術
絶え間なく科学水準の向上を図る ⇒ 知的・文化的価値の創出
研究開発の成果をイノベーションを通じて、社会・国民に還元 ⇒ 社会的価値や経済的価値の創出
- ②人材育成と競争的環境の重視（モノから人へ、機関における個人の重視）

○科学技術の政策目標の明確化

- 3つの基本理念の下で目指すべき具体的な6つの政策目標を設定。
- ①飛躍知の発見・発明、②科学技術の限界突破、③環境と経済の両立、④イノベーター日本、⑤生涯はつらつ生活、⑥安全が誇りとなる国

○政府研究開発投資の目標（検討中）

科学技術の戦略的重点化

○基礎研究の推進

- 研究者の自由な発想に基づく研究 → 多様性の苗床の形成
※政策課題対応型研究とは明確に区分、ビッグサイエンスとしては国としても判断。
政策に基づき将来の応用を目指す基礎研究 → 非連続的なイノベーションの源泉となる知識の創出

○政策課題対応型研究における重点化

- ▽重点推進4分野(ライフサイエンス、情報通信、環境、ナノテクノロジー・材料)、推進4分野(エネルギー、製造技術、社会基盤、フロンティア)
▽分野別推進戦略
・第3期期間中に重点投資する対象として、戦略重点科学技術を選定。
①社会・国民ニーズ(安全・安心等)②国際的な科学技術競争③国家基幹技術(スーパーコンピュータ、宇宙輸送システム等)
・新興領域・融合領域への対応

科学技術システム改革

1. 人材の育成、確保、活躍の促進

- 個々の人材が生きる環境の形成
・若手研究者の自立支援
・人材の多様性・流動性の向上(女性、外国人等)
- 大学の人材育成機能の強化
(大学院教育振興プラットフォーム(仮称)、博士課程在学者支援)
- 社会のニーズに応える人材の育成
- 次代の科学技術を担う人材の裾野の拡大

2. 科学の発展と絶えざるイノベーションの創出

- 競争的環境の醸成
- 大学の競争力の強化
(世界トップクラスの30研究拠点形成、地域の知の拠点再生プログラム(仮称)、私学の活用)
- イノベーションを生み出すシステムの強化
(イノベーション創出を狙う制度、先端融合領域研究拠点、つなぐ仕組み)
- 地域イノベーション・システムの構築と活力ある地域づくり
- 研究開発の効果的・効率的推進
- 円滑な科学技術活動と成果還元に向けた制度・運用上の隘路解消

3. 科学技術振興のための基盤の強化

- 優秀な人材の育成・活用を支える研究教育基盤の構築
- 先端大型共用研究設備の整備・共用の促進
- 知的基盤の整備
- 知的財産の創造・保護・活用
- 研究情報基盤の整備、学協会の活動の促進
- 公的研究機関における研究開発の推進

国際活動の戦略的推進

- 国際活動の体系的な取組
- アジア諸国との協力
- 国際活動強化のための環境整備と優れた外国人研究者受入れの促進

社会・国民に支持される科学技術

- 科学技術が及ぼす倫理的・法的・社会的課題への責任ある取組
- 科学技術の情報発信と国民の理解の増進
- 国民の科学技術への主体的参加の促進

総合科学技術会議の役割

- 司令塔機能の強化／「知恵の場」／顔の見える存在
・政府研究開発の効果的・効率的推進(含 把握・所見とりまとめの強化)
・制度・運用上の隘路の解消